

意見公募等の結果一覧

No.	在住等の区分	ご意見(概要)	区の考え方及び修正の内容
1	在住	<p>千代田区立スポーツセンターのバスケットボール個人開放が「中学生以上」とされ、小学生が利用できない現状は、公共施設としての機会保障の観点から課題と考えます。安全配慮を踏まえつつ、個人開放時間の一部を活用した月4回程度の小学生・親子向けシュート練習枠(ゲーム禁止・時間帯分離・スタッフ配置)の試行導入をご検討ください。あわせて、年齢制限の根拠や検討経緯、代替施策の有無についてご教示願います。</p>	<p>区立スポーツセンターで実施されている事業に対するご意見であると受け止めさせていただきます。</p> <p>区立スポーツセンターの個人開放(バスケットボール)につきましては、競技中の接触による事故防止の観点や、小学生と大人では適用されるルールが異なることなどから、現在は中学生以上を対象として実施しております。</p> <p>また、毎月第3日曜日に「区民無料開放事業」を実施し、バスケットボールを含む6種目について個人で参加いただける機会を設けています。</p> <p>区といたしましても、子どもの運動機会の確保は重要な課題であると考えておりますので、今回いただいたご意見につきましては、次期指定管理者の募集条件の検討や、スポーツセンターの事業に限らず、他の取組を推進する際の参考とさせていただきます。</p>
2	在住	<p>義務教育後や家族と離れると、運動や交流の機会が減り心身の不調が生じやすくなります。世代を問わず参加でき、地域づくりにも寄与するラジオ体操は千代田区発祥の運動でもあります。区議会で前向きな答弁があったものの情報提供は進まず、参加機会が限られたままです。区ホームページ上で区内のラジオ体操実施会場・時間を網羅的に掲載し、普及促進を図っていただきたいと要望します。</p>	<p>地域のラジオ体操会に関する情報発信についてのご意見として、受け止めさせていただきます。</p> <p>地域の皆さまにより、各地域で多くのラジオ体操会が開催され、地域のレガシーとして継承されているものと認識しております。区といたしましても、「広報千代田」(令和7年7月5日号)などにおいてラジオ体操の特集を掲載するなど、情報発信の取組を継続して行っております。</p> <p>区内のラジオ体操実施会場・時間等を区ホームページ上でまとめることにつきましては、地域のラジオ体操会の開催主体や実施状況が多様であることから、区が一律に網羅的な掲載を行うことが難しい面があります。</p> <p>しかしながら、区民の皆さまが参加しやすい環境づくりは重要であると認識しており、今後も地域のラジオ体操会の皆さまと連携し、可能な範囲で情報提供の充実に努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の情報発信の検討を行う際の参考とさせていただきます。</p>
3	在住	<p>日常的にスポーツを楽しみ、運動習慣を継続したいと考えていますが、現状では個人で参加できるスポーツの機会が限られていると感じています。特に、フットサルができる施設(小川広場、スポーツセンター)が整備されている一方、団体登録が前提の運用となっており、個人で気軽に参加できる機会が限られています。仕事や子育て等で定期参加が難しい区民にとっては、スポーツに触れる入口が狭く、運動習慣の継続に支障があります。つきましては、個人参加型フットサルの実施、当日・少人数参加枠の設定、団体登録を要しない利用制度の導入に加え、親子向けプログラムや安全な運動スペース整備など、多様なライフスタイルに応じた参加機会の拡充をご検討ください。</p>	<p>スポーツ施設の個人での利用方法に関するご意見であると受け止めさせていただきます。区立スポーツセンターでは、毎月第3日曜日に「区民無料開放事業」を実施し、フットサルを含む6種目について個人で参加いただける機会を設けています。また、個人向け事業やスポーツ大会、団体への施設貸出など、多様な取組を通じて限られたスポーツ資源の有効活用に努めています。</p> <p>ご指摘のとおり、個人参加型プログラムの拡充や、団体登録を前提としない利用枠、ライフスタイルに応じた環境整備は、スポーツ機会の拡大に向けて重要な視点と認識しております。いただいたご意見は、今後の検討の参考として活用し、より利用しやすい環境づくりに努めてまいります。</p>
4	区内団体内勤	<p>当連盟は、在住・在勤・在学者を中核に組成され、区スポーツ協会所属団体としてスポーツ振興の一端を担ってきました。本基本計画(改定案)の「知る・みる・する・支える・質の高い環境」の五本柱は、具体的な施策と結びついており、従前よりも整理されていると受け止めました。</p> <p>一方で、地域スポーツの概念における武道の明確な位置づけが不十分です。区議会では、マルチスポーツの促進に向けた方策として、武道を地域で気軽に体験できる環境の整備について質問がありましたが、その後の検討結果が十分に反映されていない点は、武道を日常的に修練する立場として大変失望しました。</p> <p>武道は日本発の運動文化として国際的評価が高く、区内には歴史的資産(スポーツレガシー)も豊富です。については、計画本文の5頁には、〈武道〉という項目を設けて、柔・剣・空手・相撲・合気道・弓等を列記して、区としてもバックアップするとともに、私たちのナレッジも活用頂きたい。また、国際交流・観光・生涯スポーツ・高齢者健康と横断的に連携する施策を盛り込むことをご提案します。将来的には、学校教育と地域活動を接続する拠点として「区立武道館」の整備検討をお願いいたします。当連盟の知見は、事業設計・運営両面で提供可能です。</p>	<p>本計画5頁におけるスポーツの図については、ご指摘を踏まえ、武道を一つの領域として記載いたします。</p> <p>また、武道とマルチスポーツの関係につきましては、総合型地域スポーツクラブにおいて体験会等を通じた普及に取り組んでおり、区としても引き続き支援してまいります。なお、武道は多様な種目が存在するため、すべてを一律に取り扱うことは難しい面もございますが、武道をスポーツの重要な分野と認識し、体験機会の創出や環境整備に向けて、関係団体の皆様と意見交換を重ねながら、本計画のスポーツ施策を推進してまいります。</p>